

平成 28 年 7 月 27 日
農 林 中 央 金 庫

J A ふくしま未来伊達地区管内の被災生産者に対する 営農再開支援等について

農林中央金庫では、東日本大震災により甚大な被害を受けた農林水産業の復興を全力かつ多面的に支援するため、平成 23 年に復興支援プログラムを創設し、被災された生産者等に対し、金融面に止まらない幅広い支援を行っております。

今般、同プログラムに基づく「営農再開支援」として、J A ふくしま未来伊達地区管内のあんぽ柿原料柿生産者に対する営農再開に必要な資材の費用助成を決定しましたのでお知らせします。

当 J A 管内の伊達地区は、原発事故の影響により平成 23 年度から 2 年間にわたり、地域特産品であるあんぽ柿の全面的な生産自粛を余儀なくされました。当 J A では、あんぽ柿生産の本格再開に向け、樹皮洗浄または粗皮削り等の放射性物質低減対策に取り組むとともに、平成 25 年度から加工再開モデル地区設定によりあんぽ柿の加工を再開してきました。加工モデル地区については、対象地区を順次拡大しながら生産量の回復を図っていますが、当該地区におけるあんぽ柿生産量は依然として震災前の 5 割程度に止まっております。

当金庫としては、福島県農産物の象徴的な存在であるあんぽ柿のこのような状況を踏まえ、原料柿生産者の生産意欲の向上により、原料柿の品質と収穫量の確保、ひいては県産農産物のブランド回復につなげていくために、資材（基肥肥料）購入費用の一部を助成することといたしました。

当金庫では、引き続き「復興支援プログラム」を通じて、被災された農林水産業者の復興支援を継続してまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 広報企画室（田口・大谷）

TEL：03-5222-2017

1 本件支援の概要

目的	あんぽ柿原料柿生産者の営農再開意欲の維持ならびに原料柿の品質，生産量の確保を後押しするもの
概要	あんぽ柿原料柿の栽培を再開するにあたって使用する資材（基肥肥料）の購入費用の一部を助成
助成先	J Aふくしま未来伊達地区管内のあんぽ柿原料柿生産者

2 J Aふくしま未来の概要（平成 28 年 3 月 1 日現在）

名称	ふくしま未来農業協同組合
所在地	福島県福島市北矢野目字原田東 1-1
設立年月日	平成 28 年 3 月 1 日
代表者	代表理事組合長 菅野 孝志
あんぽ柿の特徴	・ J Aふくしま未来伊達地区は，あんぽ柿発祥の地として約 90 年の歴史があり，同地区の特産品となっています。 ・ あんぽ柿は，渋柿を硫黄で燻蒸して乾燥させる独特の製法で作られる干し柿で，表面は鮮やかなオレンジ色で少し歯ごたえがありますが，中身（果肉）はトロリとした食感で羊羹のように柔らかいのが特徴です。

3 あんぽ柿のイメージ

